

第4回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和3年9月16日（木） 14時30分～

場 所：リモート開催（一部 防災センター2階）

出席者：19人

会長	山家 裕史	湖西市副市長
副会長	山本 信治	湖西市産業部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学准教授
委員	諸井 宏司	遠州鉄道株式会社 運輸事業部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 取締役運行営業部長
委員	有友 和浩 (代理：今泉 正義)	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	江間 綾子	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	仲野 弘己 (代理：松林 花奈)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	内海 孝久 (欠席)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	馬淵 邦禎 (代理：佐々木 秀喜)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	板倉 福男	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	小倉 英昭 (欠席)	湖西市 都市整備部長
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 課長代理
事務局	小笠原 大悟	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係 主任
事務局	榊原 徹	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係 副主任

資料No.	配付資料タイトル
1	—
2	コーちゃんバス令和3年10月改正における啓発について
2-1	コーちゃんバス改定周知用チラシ
3	湖西市地域公共交通計画について
3-1	事業の体系図等
4	デマンド型乗合タクシーの市内全域化について
5	デマンド型乗合タクシー（知波田地区・新居地区）の今後の方針について
6	令和3年度湖西市企業シャトル BaaS 実証事業について
6-1	参考資料

1 開会

2 会長挨拶

皆様、こんにちは。本日は大変お忙しい中、令和3年度第4回地域公共交通会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

ご承知の通り、湖西市におきましては、8月20日から発令された緊急事態宣言が9月30日まで延長されたことに伴いまして、一部の委員の皆様には会場にご出席いただいておりますが、今回はこのようにリモートでの開催とさせていただいたところです。

本日は報告事項が1件、それから討議事項としましては、湖西市地域公共交通計画について、デマンド型乗合タクシーの市内全域化についての2件です。また、協議事項としましては、令和3年度湖西市企業シャトルバス事業の実証実験についてなど、2件ございます。本日の討議事項であります湖西市地域公共交通計画につきましましては、前回の会議で基本方針までご討議いただきましたが、本日は湖西市を取り巻く公共交通の課題を解決するため、個別事業の内容や成果指標についてご討議いただく予定でありますので、委員の皆様には是非とも忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。それでは、本日は、どうぞよろしく御願いたします。

3 報告事項

(1) コーちゃんバス令和3年10月改正における啓発について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<座長>

- 具体的なスケジュールの利用モデルみたいな形で示していただいたのは、すごく実感を持って、利用者もチラシを見ることができると思いますので非常に良い取り組みだと私は思います。配布後、市民からの意見があればまた教えていただきたい。例えば、若い年代の方がチラシがあつて良かったというような声などもあるのか気になります。

<事務局>

- 承知いたしました。

4 討議事項

(1) 湖西市地域公共交通計画について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<座長>

- 運輸支局の視点から今回の計画についてご意見ありましたらお伺いしたいです。また、ご説明いただいた資料の中で、「補助系統の地域の公共交通における位置付けや地域公共交通確保維持事業の必要性など、マスタープランの内容とすべき事項を記載する」とありますが、今回の湖西市地域公共交通計画の現案ですと、計画の第何章に入れるのが適正かという情報が現段階でありましたら、ご指導いただけますでしょうか。

<委員>

- 計画の第何章に記載すべきかというご質問に関しては、各自治体さんの計画の作り方に沿う形でよろしいかとは思いますが、現在計画策定中だとは思いますが、その都度、運輸局へご相談いただきまして、こちらから回答差し上げるという形で行いたいと思っています。

<座長>

- これまでの補助制度の中で、「地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」となっていたところが、新しい補助制度では、「地域公共交通計画全体の定量的な目標・効果」と少し変わっていると思いますが、公共交通確保事業に限らず、この事業を含む公共交通体系全体で評価される必要があるということでしょうか。

<委員>

- 活性化再生法が改正された際に、利用者数や収支率等の定量的な目標を公共交通計画へ記載することが努力義務化されました。さらにここから、補助系統について地域の公共交通における位置づけ・役割を記載するよにということになりました。計画策定の中で、この位置づけ・役割を分けて記載するか、合わせて記載するか、どちらがわかりやすいかについてはまた調べさせていただきます。

<座長>

- これまで補助制度に入っている内容は今回の内容で KPI みたいなものに相当して、公共交通計画全体というのは、目標に対する評価指標というように読み替えることができるのであれば、概ね現在の作成の方向で問題ないのかなと思われるのですが、その辺りでもし情報等ありましたら、また共有をお願いします。

<委員>

- 事業の概要の「1-5 バス停付近におけるバス利用者の自転車駐輪場の確保」について、目標値を10箇所としています。現状の利用可能な駐輪場の数が10箇所という認識でよろしかったでしょうか。
- 参考ですが、静岡県でも地域公共交通計画を考えていくのですが、令和5年度までに策定となるため、また今後県の方からも計画策定でお願いすることがあると思いますが、その際はよろしくお願い致します。

<事務局>

- まず1点目の質問に関して、目標値として周知を行った駐輪場の数をカウントすることとします。現状、コーちゃんバスの利用者の方に対してバス停付近の駐車場を利用しても大丈夫であるという周知ができていないため、この周知も含め、目標値としております。
- 2点目につきまして、前回お示しした際は、市の総合計画の実践計画に合わせて4年度に見直しをかけていきますとご説明をさせていただきましたが、今回の資料を一部修正しております。コロナ禍の状況や社会情勢など、外的環境が変動していますので、毎年適宜見直しをかけていきたいと考えており、県の方からもお話いただけましたら、湖西市としても対応可能であると思います。

<座長>

- 参考資料の(1)【算出式】について、 $A \times B + C = 74,541$ 人/年の意味を教えてください。どの数字を出すための計算式でしょうか。

<事務局>

- 「E：直近3年の鷺津循環線、岡崎循環線を除く1人あたり支払額」を算出するための基となる計算式です。

<座長>

- 理解しました。それであれば、「E＝・・・」といった計算式を資料に記載してもらえたらわかりやすいと思います。

<事務局>

- 承知いたしました。ご意見ありがとうございます。
- 皆様、ご意見ありがとうございました。いただきましたご意見を踏まえ、今後策定を進めます。

(2) デマンド型乗合タクシーの市内全域化について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<委員>

- 資料の2ページ目の2.(3)でJR東海道本線の駅から半径1キロ圏内に位置する自治会については対象外とするとありますが、自治会には説明済みで了解も得ていますでしょうか。
- コミュニティバスとデマンド型乗合タクシーの棲み分けをどのように捉え考えていらっしゃるのか。と申しますのが、コミュニティバスに関して、例えばバス停から遠くてなかなか利用ができないという方はデマンド型乗合タクシーで補完するというのが一般的な考えかと思います。駅から半径1キロ圏内の自治会に関して、車両の上限台数や費用の面から対象外にしたことも踏まえて、棲み分けについて今現在のお考えをお聞かせください。

<事務局>

- 1点目の、対象外となる自治会への説明については、今回討議という形で皆さんに案としてお示しさせていただくものでありますので、現状対象外になる自治会についてはまだ説明をしておりません。
- 2点目の、コミュニティバスとデマンド型乗合タクシーの棲み分けについては、コーちゃんバスの強みとしましては、低運賃で大量輸送が可能ということで、コミュニティバスは主要な都市拠点と地域拠点を結び役目としています。将来的に4台5路線にして、多くの利用が見込めるところについての今後も継続していきたいと考えております。次に、デマンド型乗合タクシーにつきましては、おっしゃる通りバス停が自宅から遠くて大変というご意見もございますので、そういった方々が今後もセーフティネットとして利用できるよう、できる限り広げていきたいと考えております。そのため、利用者実績が多くないためにコーちゃんバスが走っていない地区であっても、利用していただけるように拡大をしていきたいと考えております。

<委員>

- ありがとうございます。ただJR東海道線本線の半径1キロ圏内にするエリアは、デマンド型乗合タクシーが利用できないということで、特に高齢の方ですと、自宅からバス停までの距離が遠くコーちゃんバスが利用できず、コーちゃんバス、デマンド型乗合タクシー共に利用できなくなるということになりかねないため、そのあたりも今後検討してもらいたいです。

<事務局>

- 事務局の方で、説明が不足しており、申し訳ございません。駅周辺に関しまして、この件も含め、コーちゃんバスの路線の見直しを令和3年10月に行います。現状、鷺津駅周辺に関しては岡崎循環線を除く全路線が鷺津駅に乗り入れており、新居町駅周辺に関しては新居地区の循環機能強化、新所原駅周辺に関しては岡崎循環線、岡崎鷺津線の2路線でカバーしております。このように、基本的には各駅周辺に関しては、コーちゃんバスでカバーをしつつ、それ以外の地区に関してはデマンドでカバーをしていくようなイメージで考えております。

<委員>

- 1キロという線を引くというのはやむを得ないことだと思いますため、現状案でよろしいと考えます。

<委員>

- 運行事業者の立場から、まず供給限界が8台というところに関しては、まず湖西営業所に27台タクシーがあり、24時間365日の平日日中で約17台が最大稼働しています。その内の8台をデマンドに利用できるのではないかと導き出しています。現在3地区稼働していますが、現状2台の稼働となっております。特に9時-10時のピークの時間帯に8台で耐えられると試算しております。周知を進めていくことも考慮すると、すぐに8台稼働となるわけではないと考えられます。今後利用が拡大していくと運行事業者としてもデマンドに充てる台数を拡大することも検討していくことになると思いますが、まずはこの案でスタートさせていただけたらと考えております。

<事務局>

- 御意見ありがとうございます。12月の地域公共交通会議では仕様書等の協議をしていただきまして、令和4年4月に市内全域拡大を目指していきたいと考えております。

5 協議事項

(1) デマンド型乗合タクシー（知波田地区・新居地区）の今後の方針について

<事務局>

- 資料説明（資料5）

【質問なし】

<座長>

- 協議事項2「デマンド型乗合タクシー（知波田地区・新居地区）の今後の方針について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(2) 令和3年度湖西市企業シャトルBaaS実証事業について

<事務局>

- 資料説明（資料6）

<座長>

- 今回走行する運行ルート等については、各企業と協議が済んでいるという認識でよろしかったでしょうか。

<事務局>

- まだ2社で、路線についてさらに改善ができるのではないかと打ち合わせを行っており、変更がありましたら、書面決議でご承認いただきたく思います。

<座長>

- 承知しました。運行管理の部分で、常時不在になるのは浜名湖電装さんのみでしょうか。

<事務局>

- 常時不在ということではなく不在になるときがあった場合、Web カメラ等を使用した承認をいただきたいということを、この公共交通会議の承認事項とさせていただきたいです。

<座長>

- 昨年も同様でしたでしょうか。

<事務局>

- その通りでございます。
- 1点資料の訂正になります。資料6の5ページの運行期間に関して、正しくは令和3年11月1日～令和4年2月28日になります。

<座長>

- 協議事項2「令和3年度湖西市企業シャトルBaaS実証事業について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

6 その他

特になし

7 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和3年度第4回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上